

県政活動報告

発行者/皆川いわお
〒400-0031 甲府市丸の内3-6-2
TEL 055-222-5313
FAX 055-233-3301
E-mail: minagawa@nns.ne.jp
http://www.nns.ne.jp/pr/minagawa/
YAHOO JAPAN 検索「皆川いわお」

甲府城と県庁敷地のオープン化

皆川いわお県議が代表質問

県庁の整備は27年度中に完了

12月定例県議会で、皆川いわお県議は自由民主党創明会を代表して、県政全般について質問した。富士山が世界文化遺産に登録され、リニア中央新幹線のルートと駅の位置が明らかになるなど、山梨の発展につながる芽が出てきている、今こそ将来の山梨の発展に向けて取り組む絶好機だとし「暮らしやすいさ日本」を実現したいと提言した。



12月定例県議会で代表質問する皆川いわお県議

1 県庁敷地のオープン化 緑地の整備で開放感を

皆川いわお県議の質問

県庁の敷地は、甲府城を中心とする歴史・文化拠点へのアプローチとして重要なゾーン。現在の西別館が解体され、平和通りからの眺望がひらけることで、県指定有形文化財である県議会議事堂ごしに、甲府城を仰ぐことができる。緑豊かで、利用しやすく、開かれた空間としての整備が必要だ。今後、どのように敷地整備を行なっていくのか。

知事答弁

甲府城や中心市街への人の流れを促し、県民や観光客が憩える空間にしたい。本館前広場は石貼りのオープン広場とし、大規模災害時の活用のほか、イベント開催など、多目的に利用したい。

議事堂前広場は議事堂の外観にあわせたレンガ貼りの広場とし、中庭には芝生広場、東屋などを設け、庭園として整備したい。整備は27年度中に完了したい。

2 東別館・県民会館跡地 水辺空間の形成を

皆川いわお県議の質問

東別館・県民会館跡地は甲府城の敷地内だ。城下町甲府

のまちづくりには水辺空間が必要で、お堀を復元し、街の活性化につなげたい。

知事答弁

東別館・県民会館跡地は、甲府城を中心とする歴史・文化拠点の重要な場所だ。「甲府駅南口周辺地域修景計画」に沿って検討していく。

3 誇りと賑わいを 甲府城周辺の再整備

皆川いわお県議の質問

堀の南は、水辺と小江戸文化の「お城フロント計画」を進めていくべきだ。誇りをもってまちを語れてこそ、賑わいのあるまちづくりや、自信をもつて観光客を招き入れることが可能になる。

知事答弁

甲府城周辺の整備については、来訪者の回遊性を高め、賑わいの創出につなげることが重要だ。税務署跡地などの未利用地の活用も視野に入れながら、回遊ルートが魅力あるものとなるよう検討する。

4 天守閣のある甲府城 魅力ある観光都市に

皆川いわお県議の質問

甲府城の整備が着々と進んでいるが、天守閣が見えなければ城下町に住む実感がな

い。観光客には天守閣あつての甲府城だ。具体的な天守閣の推定復元図も発表されている。7年後の東京オリンピックには、世界各国からの観光客に、天守閣から甲府盆地越しの富士山を見ていただきたい。天守閣建造についてどのように取り組んでいくのか。

知事答弁

史実に基づいた復元整備を行う段階には至っていない。引き続き、調査研究を進めていくとともに、県民の機運の盛り上がりや踏まえながら、復元整備の可能性を探っていき

5 リニアの先行開業 東京申府間を可能に

皆川いわお県議の質問

山梨県にはリニア実験線があるので、これを活用し、東京・甲府間の先行開業はできないか。世界から日本を訪れた観光客に、富士山や山梨の自然を満喫してもらいたい。

知事答弁

大変困難な課題だが、引き続きJR東海に対し要請していきたい。

6年後の東京オリンピックに向けて

世界の観光客を 山梨に

6 県内周遊観光への 三つの提言

皆川いわお県議の質問

富士山の世界文化遺産登録と
東京オリンピック開催決定
リニア中央新幹線も具体化
いまこそ、県内周遊
観光ルートを確立し
宿泊滞在型の観光県を
実現する絶好機



富士山が世界文化遺産に登録され、7年後の東京オリンピック開催も決まり、リニア中央新幹線も実現に向けて大きく動き出した。今こそ、県内周遊観光ルートを確立

し、宿泊滞在型の観光県を実現するまたとないチャンスだ。この実現のためには3つの条件が必要だ。まず、現在ある観光拠点を充実させるとともに、新たな観光拠点を整備したい。たとえば、甲府城周辺においては「甲州夢小路」からスタートし、愛宕町三年坂を上り、県指定文化財になつた

「甲府城石切場跡」を経て、武田五山の長禅寺をまわり、甲府城の遊亀橋から甲府城に入る散策コースなどが考えられる。

二つ目の条件は、バスや車で訪れる観光客への対応だ。甲府城周辺では現在不足している大型バスの駐車場の確保が急がれる。三つ目の条件は、他の観光地との連携だ。たとえば、富士山と国中地域を結ぶ観光ルートをPRし、周遊ルートづくりをしたい。

知事答弁

今後はNHKの連続テレビ小説「花子とアン」を題材とした甲府市北部ルートや、ご提案の甲府城ルートなどについても検討したい。甲府城周辺の大規模観光バス駐車場確保については、甲府駅南口周辺地域修景計画において検討する。観光地間の連携については、県内の観光地を組み合わせ、広域的な観光ルートを提案している。

7 和戸町竜王線と 濁川の河川整備

皆川いわお県議の質問

和戸町竜王線の早期完成が望まれる。また、この計画道路と連携し、深刻な浸水被害をもたらしたところのある濁川の整備も重要だ。

知事答弁

和戸町竜王線については、JR身延線との立体交差工事などを進めている。濁川が並行する区間については、早期の全線共用を図りたい。現在詳細設計を進めており、用地測量を実施し、平成27年度には用地取得に着手したい。

8 オリンピック事前合宿と 50m屋内公認プール整備

皆川いわお県議の質問

本県は水泳競技においてオリンピック日本代表選手を輩出するなど、高い競技力をもっている。しかし、残念ながら、県内には通年利用可能な屋内50mプールがない。

小瀬スポーツ公園の野外プールは、耐用年数30年に対して28年が経過している。水温管理も難しく、紫外線による子どもたちの健康への影響も心配だ。全国規模の大会が開催でき、通年で利用可能なプールを早期に整備したい。

また、東京オリンピックに向けて、県に推進本部と事前合宿等誘致本部も設置された。事前合宿の誘致のためには、早期整備に向け、すぐにでも検討に入るべきだ。

当局答弁

多額の事業費や維持管理費の支出が避けられない。国庫補助の確保などについて国に働きかける努力をし、今後検討を重ねていく。

皆川いわお県議の再質問

これまでも質問をし、そのたびに検討、検討で、前進のない答弁だ。耐久年数も後2年しかない。オリンピックを控えた今こそ、ぜひ、知事に決断をいただきたい。いずれつくりなればならないのであるならば、つくるのは今でしょう。

知事答弁

県の財政状況や大型事業の執行計画を考慮に入れ、検討を深めていきたい。

東京オリンピック開催を、山梨の発展につなげたい